

## 東京国立博物館 特別展「台北 國立故宮博物院—神品至宝—」に有機EL照明パネルが採用

Lumiotec (ルミオテック) 株式会社 (社長: 近藤 勝、本社: 山形県米沢市) で製造する有機EL 照明パネル(P07シリーズ) が、独立行政法人東京国立博物館 (東京都台東区) で開催される特別展「台北 國立故宮博物院 -神品至宝-」(注1)に展示される「散氏盤」(西周時代・前9~前8世紀) (注2)を初めとした15箇所の展示ケース用照明に採用される事が決定した。

LumiotecのP07シリーズは、有機EL照明では現在世界最高水準の演色性を誇り(注3)、その高い色再現性により展示物の持つ色彩を鮮麗に見せると共に、面から照射される均一でムラのない柔らかい光により展示物への照明の映り込みが少なく、落ち着いた展示空間を創りだす。また、紫外線・赤外線が発生がなく、光源自体の発光が均一で温度上昇も極小である。

東京国立博物館の指導のもと、展示会場の設計及び照明デザインはデザインオフィス イオ(東京都江戸川区)、展示会場の設営は株式会社乃村工藝社 (東京都港区) が担当した。先述の当社製有機EL照明パネルの特徴により、展示ケース内側、特に展示品の近くに有機EL照明を設置する事が可能となり、展示物を均一で映り込みが少ない、柔らかな光で浮かび上がらせる演出が可能となった。当社の有機EL照明の特徴である、高演色性、均一な配光、低発熱等を活かし、博物館・美術館分野の展示照明分野の開拓を進め、有機EL照明事業の拡大に努める所存です。



### <展示照明での有機 EL 照明の導入によるメリット>

- ・ 展示物の繊細な色を忠実に再現する
- ・ 展示物への照明の映り込みが少ない
- ・ 展示物の損傷(退色・変質など)が従来光源に比べ少なく抑えられる (注4)  
(紫外線を含まず、さらに可視光領域の中に含まれる「損傷を与える波長」成分も少ないため)
- ・ 展示物の熱・温度変化による影響が、従来光源に比べ少なく抑えられる  
(赤外線を含まず放射熱がないこと、さらに光源自体の温度上昇も極小であるため)
- ・ 柔らかい光なので、視界に入っても気にならず、床部でも使用できる
- ・ 極薄でスペースを取らず、また軽量であるため、展示ケースの設計自由度が高い

(注1) 特別展「台北 國立故宮博物院 -神品至宝-」東京国立博物館 平成館にて平成26年6月24日(火)より9月15日(月)まで開催

(注2) 「散氏盤」(西周時代・前9~前8世紀)台北 國立故宮博物院蔵

底部の銘文は、小国同士が領地問題を自ら処理したことを示す、西周時代の金文としては極めて異例の内容。書体も非常に個性的で、中国の政治史だけでなく、書道史を語るうえでも重要な位置を占める。本作は1809年に嘉慶帝50歳の祝賀大典で臣下から献上されたもの。領地の境界を定める権力の象徴であり、皇帝コレクションにふさわしい唯一無二の重宝といえる。

(注3) 平均演色評価指数Ra90 (Lumiotec調べ)

(注4) 米国商務省標準局の損傷係数で比較。損傷係数は、色紙の変退色の程度を数値化したもので、この値が小さい光源ほど展示物への影響が少なくなる。市販されている美術館・博物館用蛍光灯(昼白色)の損傷係数0.012に対し、P07シリーズの係数は0.008(Lumiotec調べ)。

以上

【広報窓口】 Lumiotec株式会社  
業務部 TEL : 0238-29-0725  
E-mail : lumiotec\_info@lumiotec.com

【営業窓口】 三菱重工業株式会社 機械・設備システムドメイン  
事業戦略総括部 事業開発推進部 技術開発グループ Lumiotecチーム  
TEL : 03-6716-3789

(2013年4月1日より、Lumiotec株式会社の営業窓口は、三菱重工業株式会社に委託しております。E-mailは引き続きlumiotec\_infoをご利用下さい。)